

### タイからの生鮮家きん肉等の輸入停止措置を25日付で解除

農水省は25日、同日付でタイからの生鮮家きん肉等の輸入停止措置を約10年ぶりに解除した。

同措置の経緯は平成16年1月、タイで高病原性鳥インフルエンザ(H5N1亜型)の発生が確認されたことから、直ちにわが国は同国からの生鮮家きん肉等の輸入を停止。その後、タイは21年2月、国際獣疫事務局(OIE)へ同疾病の清浄性を宣言し、22年2月、わが国へ生鮮家きん肉等の輸入停止措置を要請していた。タイ家畜衛生当局からの輸入停止措置解除の要請を受け、農水省は「わが国への指定検疫物の輸入に関する要請についての検討に係る標準的手続きの制定について」に基づき、タイにおける高病原性鳥インフルエンザの清浄性に係るリスク評価を実施。タイ家畜衛生当局からわが国に対して提供された防疫措置等の情報を確認後、ことし3月にはタイへ調査団を派遣し、現地調査を実施した。これらの結果、タイにおける同疾病の清浄性を確認したことから、25日付で輸入停止措置を解除した。

なお、停止措置前のタイからの生鮮家きん肉(冷蔵・冷凍含む)の輸入実績は15年が17万9024トン、16年が1万2469トン。また、24年の家きん肉調製品の輸入実績については、22万2088トンとなっている。

### タイでの天皇家陛下の誕生日祝賀パーティ、「彩さい牛」を提供

タイで日本大使館主催の天皇誕生日レセプションが、80歳という目出たい傘寿を迎え盛大に行われた。会場には閣僚、行政、企業経営者等1200人が一堂に会し天皇家陛下の誕生日を祝った。



大使館主催で最も盛大なレセプションで、日本からも7県の自治体が14品目を出品し岐阜県が飛騨牛のサイコロステーキ、富有柿、米麴を出展し、埼玉県は和牛肉一本に絞る「彩さい牛」のすき焼きとしゃぶしゃぶを提供した。埼玉県産「彩さい牛」はロース30kgをすき焼き200人分、しゃぶしゃぶ200人分を用意した。埼玉県として出展していたミートコンパニオンの植村光一郎常務取締役は「和牛の販売は各県のブランド主張が強すぎ日本産和牛とオーストラリア産和牛がきちんと識別されていない。ミートコンパニオンでは、その混乱を防ぐために、生産県に拘らない「和牛侍」というブランドを構築している。今回の埼玉県産和牛は、日本産和牛をアピールした上で埼玉県産の特徴やこだわりを伝えたい」と話していた。提供された彩さい牛は、平成23年6月7日埼玉県出生の地域一環生産の黒毛和種で、上里ファーム肥育の29カ月齢の去勢。